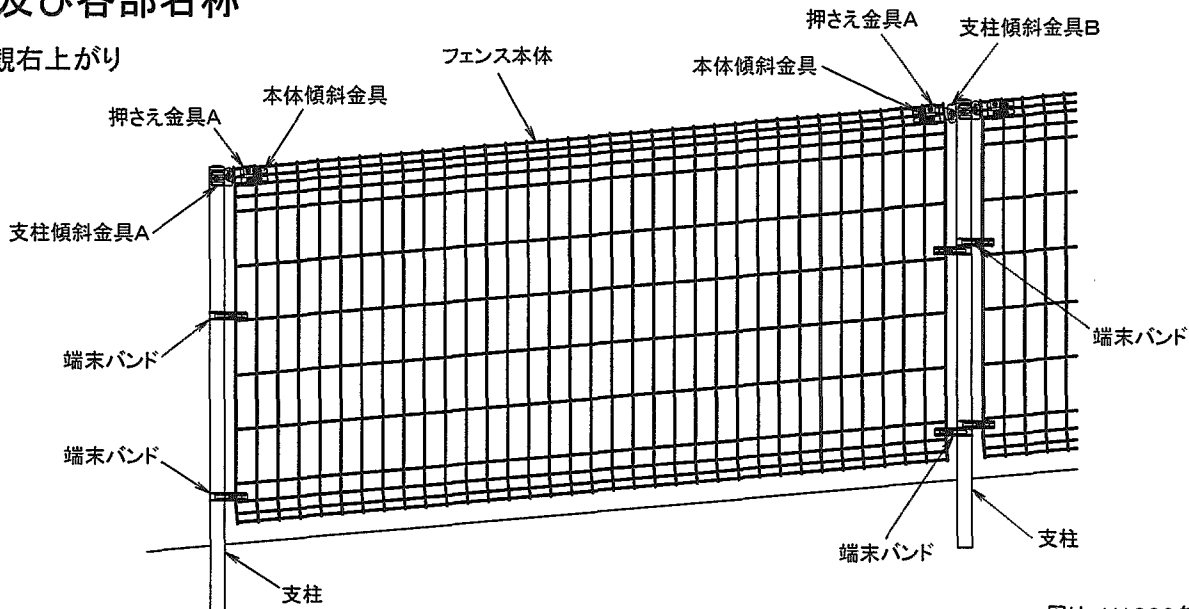


この度は弊社製品をお買い求めいただき、誠に有難うございました。
本製品を正しく組み立てていただくために、この取付説明書をよくお読みください。

構成及び各部名称

■ 外観右上がり



図は、H1000を示す。

施工上のご注意

- フェンスは隣地境界を目的に設置するものです。防護柵や手すり等として使用しないでください。
- 商品の施工につきましては、必ずこの取付説明書に従ってください。
- 設置場所の地下埋設物に影響を及ぼさないよう、ご注意ください。
- みだりに商品の改造・変更をしないでください。
- モルタルやコンクリートに使用する砂は、海砂は避けてください。腐食する恐れがあります。やむなく海砂を使用する場合は、十分に水洗いしてください。
- モルタルやコンクリートに即乾性添加物を入れますと、腐食する恐れがありますので、使用しないでください。
- 施工時にフェンスに付着したモルタル等は速やかに清掃するか、マスキングをして施工してください。
- 支柱の埋め込みは、支柱を立ててからモルタルを詰めてください。モルタルを入れた後に支柱を立てますと腐食の原因や、冬期、寒冷地等で支柱内部が凍結し、変形や破壊をすることがあります。
- 支柱の建て込み時にモルタル等でGLLレベル孔を塞がないようご注意ください。
- 施工後、ネジ・ボルトの締め忘れがないか、確認してください。
- フェンス本体は左右の上がり勝手及び角度別に全部専用のものとなります。現場での調整はできませんのでご注意ください。

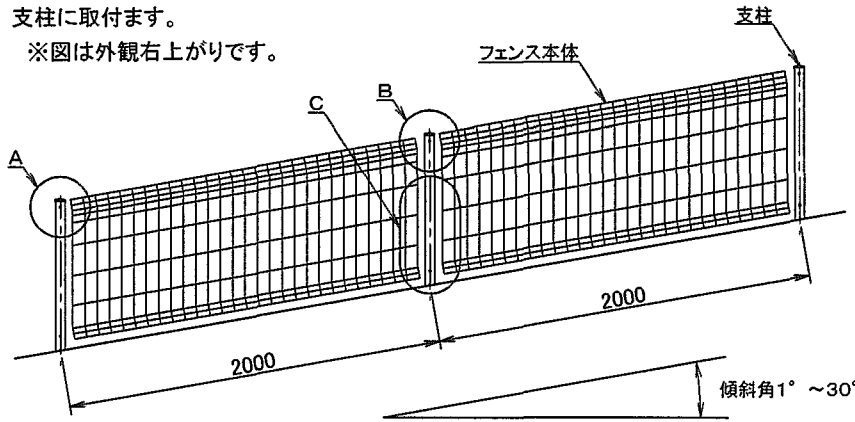
■ 部品キット員数表

部品名	適用サイズ	本体傾斜金具	支柱傾斜金具A	支柱傾斜金具B	押さえ金具A	端末バンド	固定金具	Wセムスボルト M6×55	Wセムスボルト M6×47	Wセムスボルト M6×23	Wセムスボルト M6×16	ワッシャーM6	ナットM6	取付説明書
傾斜地用 中間部金具 (1本分)	H= 600 H= 800	2	1	1	2	2	2	1	2	2	2	7	7	—
	H=1000 H=1200	2	1	1	2	4	4	1	2	4	2	9	9	—
傾斜地用 端末部金具 (1本分)	H= 600 H= 800	1	1	—	1	1	1	1	1	1	1	4	4	1
	H=1000 H=1200	1	1	—	1	2	2	1	1	2	1	5	5	1

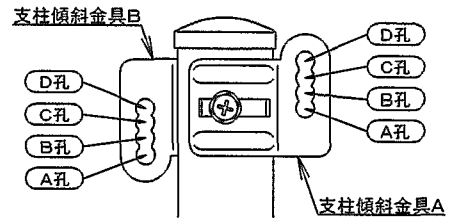
施工手順

支柱を下記スパンで立て、フェンス本体を支柱に取付ます。

※図は外観右上がりです。



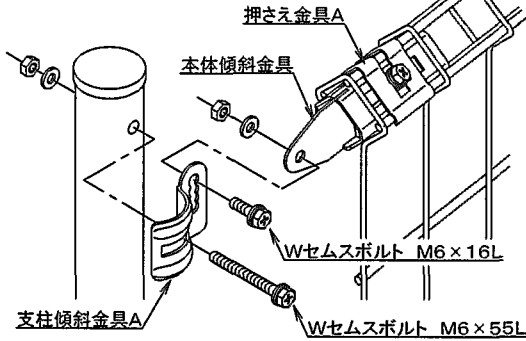
◆支柱傾斜金具のボルト取付位置【外観右上がり】



- A孔 : 傾斜角 1° ~ 8° に対応。
- B孔 : 傾斜角 9° ~ 16° に対応。
- C孔 : 傾斜角 17° ~ 23° に対応。
- D孔 : 傾斜角 24° ~ 30° に対応。

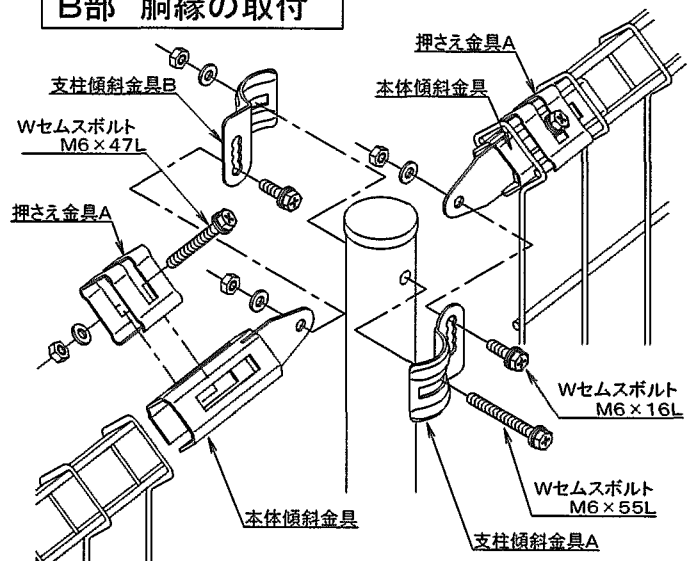
A部 胴縁の取付

本体傾斜金具をフェンス本体の胴縁に差し込んでから押さえ金具Aをはめ込みボルトで取付ます。(M6×47L)



支柱傾斜金具Aを支柱に取付てから(M6×55L) 本体受け金具をボルトで取付ます。(M6×16L)

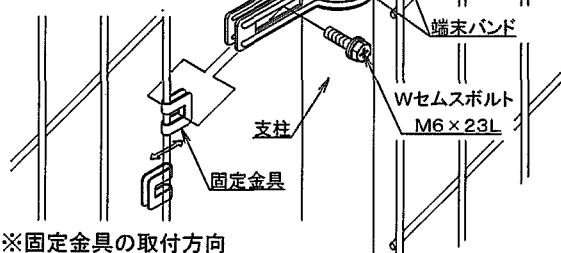
B部 胴縁の取付



C部 バンドの取付

H=1000-1200は下部と中間部。
H=600-800は下部に1カ所となります。

フェンス本体の縦線に固定金具を取付けた後、端末部用バンドではさみ込み、ボルトで取付ます。(M6×23L)

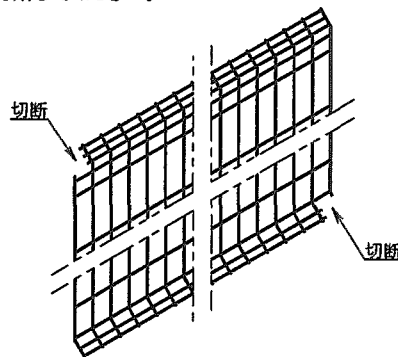


※固定金具の取付方向

本体と支柱のすき間が22mm以上の場合は上図の方向で、22mm以下の場合は逆方向に取付て下さい。

胴縁取付部の切断

傾斜角15°以上の場合は、フェンス本体を下図の様に切断してください。



切断面には補修ペイントを塗り乾燥後、保護キャップ(φ4)を取付けてください。(キャップの装着には長さ10mm以上の突出し部が必要です。)

※傾斜角15°未満でも、柱のピッチによっては取付かない場合があります。その際は、現場あわせにて切断してください。

新日軽株式会社

【エクステリア事業部】

〒141-0032 東京都品川区大崎1丁目11番1号 ゲートシティ大崎 ウエストタワー
東日本E×支店 03 (5759) 2208
西日本E×支店 06 (6380) 9275